



インプラント・ブリッジ・入れ歯の違いを簡単にご説明しております。詳しい内容は、お気軽にお尋ね下さい。

	インプラント	ブリッジ	部分入れ歯	総入れ歯
イメージ		↓銀歯(保険適用)のブリッジ  セラミック(自費診療)のブリッジ↑		
治療法	失った歯根の代わりに人工の歯根(インプラント)を埋め込み、その上に人工の歯を被せる方法。	失った歯の両隣の歯を削り、冠を橋渡しすることによって失った歯を補う方法。	失った歯の両隣の歯に金属の留め金をつけて、取り外し可能な人工の歯を留める方法。	取り外し可能な人工の歯を顎の上に乗せる方法。
対応本数	1本から、全ての歯を失った場合	1本から、数本失った場合	1本から、数本失った場合	全ての歯を失った場合
見た目	★★★★★ 天然歯と遜色ない修復が可能	★★★☆☆ セラミック(自費診療)使用なら天然歯に近い	★★☆☆☆	★★☆☆☆
違和感のなさ	★★★★★	★★★★☆	★★☆☆☆	★★☆☆☆
噛む力	★★★★★	★★★★☆	★★☆☆☆	★★☆☆☆
手入れ	★★★★★ 通常の歯磨きと同じ	★★★★☆	★★☆☆☆ 外して洗浄する	★★☆☆☆ 外して洗浄する
長所	<ul style="list-style-type: none"> ・天然歯と同じように顎の骨に固定するので、自分の歯のように違和感なく硬いものも噛めるようになる。 ・周りの歯を傷つけないため、残った歯への影響が少なく、歯の骨がやせるのを防ぐ効果もある。 ・材料を選択することにより天然歯に遜色ない審美的な修復が可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定式のため違和感があまりない。 ・セラミックなどの材料を選択することにより、天然歯に近い審美的な修復が可能。 ・治療が短期間。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブリッジのように健康な歯を削らずに補える。 ・ブリッジでは適応できないような大きな欠損に有効。 ・保険適用の入れ歯の材質・方法なら治療費が安い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保険対応の入れ歯の材質・方法なら治療費が安い。
短所	<ul style="list-style-type: none"> ・インプラントを顎の骨に埋め込むための簡単な手術が必要。 ・抜歯後の骨が盛り上がりこないと出来ないため、期間がかかる。(個人差あり) ・全身疾患がある場合には治療できない場合がある。 ・保険が適応されない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブリッジを固定するために、両隣の健康な歯を削らなければならない。場合によっては神経を取る治療が必要。 ・支える隣の歯に大きな負担がかかる。 ・空気が漏れて発音に問題が発生する場合がある。 ・歯を失った部分の骨がやせる。 ・ブリッジと歯肉の間に食べカスが詰まり、不衛生になりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バネによる隣の歯への負担が大きい。 ・食べカスが詰まりやすく、虫歯や口臭の原因になりやすい。 ・噛む力が健康な状態に比べ弱くなり、食べにくい場合が多い。 ・取り外して手入れをする必要がある。 ・すぐにガタつきやすい。 ・歯を失った部分の骨がやせる。 ・留め金が見える部分もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・噛む力が健康な状態に比べ弱くなり、食べにくい場合が多い。 ・取り外して手入れをする必要がある。 ・ぐらついたり、ずれたりしやすい。 ・食べ物が入れ歯と歯茎の間にはさまり、痛むことがある。 ・歯を失った部分の骨がやせ、やせてくると口元にしわがよりやすい。
保険適用	✕ 保険適用外ですが、医療費控除の対象になることもあります。	○ 審美的・機能的重視は自費診療	○ 審美的・機能的重視は自費診療	○ 審美的・機能的重視は自費診療
費用	<インプラント1本分の治療費> ・インプラント埋入費(人工の歯根) ¥150,000+ 上部構造(インプラントの上に被せる人工の歯) ¥170,000~200,000	<ブリッジ3本分の治療費> ・保険適用(銀歯)のブリッジ ¥20,000位(保険適用3割負担の場合) ・自費診療(セラミック)のブリッジ ¥210,000~270,000	<部分入れ歯1本分の治療費> ・保険適用の部分入れ歯 ¥5,000位(保険適用3割負担の場合) ・自費診療の部分入れ歯 スタッフにお尋ね下さい	<総入れ歯上下片方の治療費> ・保険適用の総入れ歯 ¥10,000位(保険適用3割負担の場合) ・自費診療の総入れ歯 スタッフにお尋ね下さい

歯の最も重要な役割は、噛むことです。

前歯は食物を切り裂く機能と同時に発音機能と審美的な要素を併せ持ち、奥歯は食物を噛み砕きすりつぶす機能を持っています。

しかし、虫歯や歯周病、事故などにより不幸にも歯を失ってしまう場合があります。

歯というのは、たった1本の歯を失うだけでも悪影響を及ぼします。

機能と審美が崩れ、身体全体のバランスにも影響するため、出来るだけ早くその失った部分を人工の歯の機能で補っておかなければなりません。

どの治療法を選択するかは、お口の中の状況や今後の希望によってまったく違ってきます。

人それぞれに向き不向きがありますので、お気軽にご相談下さい。



※保険適用外(自費診療)の治療費は、クレジットやデンタルローンでの分割払いも承っております。お気軽にご相談下さい。